



# 5歳以上の全てのお子さんへの 新型コロナワクチン接種を推奨します

## 新型コロナワクチン接種のながれ

- 他の種類のワクチンとは前後2週間以上あける必要があります。
- インフルエンザワクチンと同時接種可能です。(他のワクチンとの同時接種はできません)



ファイザー社製：3週間  
モデルナ社製：4週間

5～11歳にはファイザー社製のみ接種可能

## 新型コロナワクチン接種の 安全性

5～11歳の子どもの新型コロナワクチンは、12～15歳の子どもや成人よりも  
ワクチン接種による全身反応の頻度が低いです。(米国データ)



新型コロナワクチンによる心筋炎の頻度は極めてまれで、多くが軽症です。  
新型コロナに罹っても心筋炎になることがあり、その頻度の方が高く、かつ重症です。

## 新型コロナワクチン接種推奨の理由

「子どもは新型コロナに罹ってもほとんどが軽症・無症状」という新型コロナの流行開始当初と比べて  
オミクロン株BA.5の流行(第7波)で子どもの新型コロナの入院が急増し、  
**基礎疾患がないお子さんでも重症化することがある**と分かってきました。

一方で、新潟県内の子どもの入院例を検証したところ、ワクチン未接種のお子さん比べて、  
オミクロン株BA.5に感染しても**ワクチン接種で入院のリスクが1/3以下に減少する**と分かりました。

子どものオミクロン株の感染にも入院・重症化予防効果があること、日本でも安全性のデータが集まったことから、  
国は5～11歳の子どもにも**努力義務**(子どもがワクチン接種を受けるよう保護者が努める)を適用することになりました。

日本小児科学会の提言でも、健康な子どもへのワクチン接種は  
「意義がある」から「推奨します」と、推奨の度合いが強くなりました。

- まだ接種されていないお子さん※への速やかな接種
- 2回目から5か月以上経過しているお子さん※への3回目接種  
※すでに感染したお子さんも含みます
- ワクチンについて迷っている方はかかりつけ医との相談 をお勧めします。

現時点でワクチンは**新型コロナ感染の入院や重症化に対する唯一の積極的な予防手段**です。  
ご家族でよく話し合い、お子さんが納得した上で接種することをお勧めします。